

公式競技規定 改定事項 2010

ルール検討会議実施日：2010年5月5日(祝)

施行日：2010年6月1日(火)

1. 槓を含む手の点数について

- [1] (1) 双明槓(明槓+明槓) ⇒ 4点
 (2) [明槓 + 暗槓] ⇒ 5点(注1)
 (3) 双暗槓(暗槓+暗槓) ⇒ 6点(双暗刻は加算しない)(注2)

[2] 以下の手順で計算する。

- ① 槓に関する役(注3)の点数を数える。ただし、「三槓」は暗槓の数によらず32点、「四槓」は暗槓の数によらず88点とする。(注4)
 ② 暗刻に関する役(注5)の点数を数えて①に加算する。

[槓の点数 一覧表]

<記号の説明> ■：暗槓 □：明槓 ●：暗刻

槓の数	構成	点数	役の内訳
1	□	1	明槓
	□●●	1 + 2	明槓 + 双暗刻
	□●●●	1 + 16(*1)	明槓 + 三暗刻
	■	2	暗槓
	■●	2 + 2	暗槓 + 双暗刻
	■●●	2 + 16	暗槓 + 三暗刻
	■●●●	2 + 64	暗槓 + 四暗刻
2	□□	4	双明槓
	□□●●	4 + 2(*1)	双明槓 + 双暗刻
	□■	5	[明槓 + 暗槓]
	□■●	5 + 2	[明槓 + 暗槓] + 双暗刻
	□■●●	5 + 16(*1)	[明槓 + 暗槓] + 三暗刻
	■■	6	双暗槓
	■■●	6 + 16	双暗槓 + 三暗刻
	■■●●	6 + 64	双暗槓 + 四暗刻

槓の数	構成	点数	役の内訳
3	□■■■	32 + 2	三槓 + 双暗刻
	□□■■●	32 + 2(*1)	三槓 + 双暗刻
	■■■■	32 + 16	三槓 + 三暗刻
	□■■■●	32 + 16(*1)	三槓 + 三暗刻
	■■■■●	32 + 64(*2)	三槓 + 四暗刻
4	□□■■■	88 + 2(*2)	四槓 + 双暗刻
	□■■■■	88 + 16(*2)	四槓 + 三暗刻
	■■■■■	88 + 64(*2)	四槓 + 四暗刻

(*1) 碰碰和の6点を加算できる

(*2) 満貫制により88点打ち切り

(注1) [明槓+暗槓]は一つの独立した役として考える

(注2) 双暗槓に双暗刻を加算しないのは、常に含まれているからである。

よって、双暗槓の他に暗刻がある場合は、三暗刻、四暗刻を加算する。

(注3) 槓に関する役：明槓、暗槓、双明槓、[明槓+暗槓]、双暗槓、三槓、四槓（これらの役は2つ同時に数えない）

(注4) 改訂前との主な変更箇所：□□■■の場合が33点→32点へ

(注5) 暗刻に関する役：双暗刻、三暗刻、四暗刻（これらの役は2つ同時に数えない）

2. 発声について－1

(1)使用できるのは、「チー」「ポン」「カン」「フー」のみ。(注5)

(2)単純な言い直しは認めない。

最初に発声したもののみを有効とし、実行できないときはアガリ放棄。(注6)(注7)

(注6)「ツモ」や「ロン」の発声は使用できる用語ではないため、「フー」と言い直せば不問。(ルール上は私語とみなす)
「フー」と言い直さなければ、無発声の扱いとなる。

(注7)例「ポン・チー」と、同じ人が連続して発声した場合は、最初に発声した「ポン」を実行しなければならない。あとで発声した「チー」は無効。このときポンが実行できなければアガリ放棄。(3.(2)参照)

(注8)「フー」と発声して実行できない場合も、倒牌しなければアガリ放棄。(他の誤発声と同じ扱い)
倒牌してしまった場合は、チョンボ。(打牌制限なし。4.(1)参照)

3. 発声について－2

(1)フーロの手順－以下の手順を遵守する

① 発声

② 一呼吸おいてから、手持ちのターツやトイツ、コーツを見せる

③ 取牌して、3枚なり4枚を手元に明示

④ 打牌(打牌後、フーロメンツを確定させる)

①と②の間に限り、チーの発声より、他家のポン、カンが優先する。(注8)

(①と②の間に一呼吸おいていない場合は、他家のポン、カンが優先する)

(2)自らの発声の後、他家の発声があった場合に限り、発声の言い直しを認める。(注8)

例「チー」と発声→他家の「ポン」の発声→「フー」の言い直しを認める

(注9)他家の発声を聞いて戦略を決めることが許される。

4. 罰則規定について

(1)誤フー(倒牌した場合)⇒30点卓外供託として、アガリ放棄。その局は続行。チョンボ者の打牌制限はない。

(2)山を崩した場合⇒90点卓外供託として、その局をやり直し。

(3)暗槓を誤って開示した場合⇒アガリ放棄

(4)フーロ時のさらし間違いは、打牌前であれば、訂正できる。(注9)

打牌後は訂正できず、アガリ放棄。その場合、間違えてさらされた牌も和絶張の枚数計算の対象になる。

ただし、ツケ牌の位置のみを誤った場合は、その限りではない。

例  をチーしたときに、誤って  とさらしてしまっても、打牌前であれば、 と訂正できる。

(5)ツモ牌を間違えた場合、間違えた牌を元に戻して正しい牌でツモし直す。ただし、間違えてツモった牌を手牌に接触させたあとで気付いた場合は、アガリ放棄。

(注10)間違いに気付いたら他家は指摘する必要がある。

5. 推奨規定について

(1)出アガリの際、アガリ牌を手元に持ってきてから、点数計算をはじめ。(注10)(注11)

(2)フーロメンツは、各自、卓の右隅に明示する。

フーロメンツが複数個になった場合は、順次、左横に並べる。(横フーロ)

(注11)あくまで各自の任意であり、強要はしないこと。

(注12)他大会においては罰則規定が設けられていることも多く、不慣れによる不利益を受けないようにするため。

その他、14枚形でアガリを認める中国での規定に揃えること、手役計算時の分かり易さに有効な面があることなど。